

学級数	16学級	児童生徒数	582名
校内委員会			
(1)名称 業務改善推進委員会			
(2)協議・検討内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・通知表の電子媒体化について ・今後の校務、業務の効率化とIT化 			
(3)成果と課題			
<p>年度当初は通知表の具体的な案の作成や生徒、保護者への周知方法など話し合い検討を重ねた。そのため、今年度の大きな目標であった通知表の電子媒体化はスムーズに導入することができた。</p> <p>また、出張等で推進委員会の開催が困難な時があり、審議が滞ることがあったので計画的な会議運営の必要がある。</p>			
1. 実践校の取組内容(計画書の取組項目を記載)			
<ul style="list-style-type: none"> ・電子ファイルの共有 ・児童生徒データベースの作成 ・出席統計作成ファイルの作成 ・トライやる・ウィーク関連資料の支援ファイルの作成 ・校務・業務の効率化やIT化 ・学校事務の改善について ・研修・会議等の効率化 			
2. 取組の具体的内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・各データベースの再構築 ・情報掲示と連絡の工夫 ・会議・研修の年間計画の立案(精選と廃止を含む、定例日の設定) ・会議の資料の事前配布 ・職員朝礼の連絡事項等の文書化 ・完全下校時刻の実施とノー部活デー 			
3. 取組の成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・完全下校時間では部活動顧問の指導もあり、すべての生徒が下校できている。 ・第2日曜日、毎週月曜日のノー部活デー、ノー会議デーは定着しており、保護者の理解協力も得られている。 ・通知表に関しては昨年度からの準備取り組みもあり、スムーズに1学期から実施できた。生徒や保護者の理解も得られている。 ・どのフォルダにどのようなファイルがあるかがITルールブックにより周知されているので探しやすくなった。 ・職員朝礼では「デイリー」という行事・連絡や出張等をまとめたものを毎日配布し、立ち番等で不在の職員も含め確実に伝達され、時間も短縮できている。 			

<p>4. 取組の際の工夫点や留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善の必要な案件に関しては分掌や教科からの提案・要望や教職員へのアンケート結果などを参考にして推進委員会で検討している。 ・推進委員会の構成は管理職と経験年数や分掌、職種などできるだけ多様な組織を考える。また、委員会の代表者は管理職以外が行う。 ・電子データでは、特に写真データのデータ量が大きく、サーバーの容量の限界もあることから、保存の方法に課題が残る。原則、画素数を落として画像を保存することとした。 ・電子データのバックアップの方法と、データの削除の時期をどうするかに課題が残る。またハードディスクでの作業とサーバー上への保存をどうするかが検討課題である。 ・教職員全体のIT技術向上のため年に数回「職員IT研修」を行っている。
<p>5. 各学校での取組活用のためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT関連の設備の充実、教職員の情報処理技能向上は必要不可欠である。 ・学校業務改善実践事例集はとても参考になった。 ・全職員が共通意識を持って業務改善に取り組んでいけるような手立てを考える必要がある。
<p>6. 取組後の職員の主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校は近隣校と比べると先進的な取り組みを導入しているため、転入の職員からは好評を得ている。 ・情報担当者からはIT関連の業務が増えたため多忙感が増したという意見があった。人的な補強が必要である。 ・部活動に熱心な教師からは練習時間が確保できない等の不満が出ている。
<p>7. 次年度の学校業務改善に係る取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務、業務の中にはまだ多くの効率化やIT化が可能なことが残っており、広く職員の意見やアイデアを聞きながら、今後の取り組みとする。 ・近隣校との情報交換の中で取り組みの共有化を図る。 ・ITルールブックは昨年度より作成し、周知してきた。今後は適切な情報管理のために常に改善や検討を重ねていく必要がある。 ・次年度は職員の意識改革をさらに進め、ノー残業デーの完全な定着を実現したい。